

絵本の本棚

「絵本の本棚」は子どもたちに読み聞かせをしている方々（おうちの方や読み聞かせボランティアの方、学校の先生 など）に向けて、絵本選びの参考になればということで作成しているテーマ別リストです。



「おとうさん」

家族の中でたよりになるのは？ やっぱり おとうさん。
力強く、たのもしく、やさしいおとうさん。
絵本の中のおとうさんも大活躍です。

(凡例)

書名	著者名等	出版者	出版年	請求記号
あらすじ				
対象	キーワード			

対象区分（あかちゃんから / 幼児から / 小学生から）ごとに書名のアイウエオ順で掲載しています。
対象区分はおおよそその目安となりますので参考としてください。



あかちゃんから

おうまんしてー！

三浦 太郎 / 作・絵 こぐま社 2009.6 Z913.8/ミ/

子どもたちが大好きな「おうまんごっこ」。お父さんに乗って、お父さんと一緒にくまさんに乗って、お父さんとくまさんと一緒におうまさんに乗って…。最後に乗せてくれるのは誰？

幼児(0～5歳) おとうさん

ぼくはおとうさん こねこちゃんえほん

いもと ようこ / さく・え 金の星社 1982.3 Z913.8/任/

幼児(0～5歳) おとうさん ねこ



幼児から

うちのとうちゃんうちのねこ のびのびえほん3

高部 晴市 / 作・絵 岩崎書店 2000.5 Z913.8/効/

うちの父ちゃんねこぎらい。ところが、母ちゃんが拾ってきた子ねこを飼うことに。でも、やっぱり、父ちゃんとねこはしっくりいかず、ふたことめには「捨ててこい」。ある日、父ちゃんとねこをおいて皆でかけることになり…。

幼児(0～5歳) おとうさん ねこ

おおきなおおきなさかな フレーベル館のおはなしいっぱい 2

高科 正信 / 作 フレーベル館 1999.9 YZ 913.8/カ/

おとうさんとうみへつりにいくことになった。「いっぱいつれる?」「ああ、じゃんじゃんつれるさ」つりにいくのははじめてだったので、ぼくはうれしくてともだちみんなにじゃんじゃんつれるはなしをした。でも...

幼児(0~5歳) おとうさん 海 魚

おとうじゃ、ないって どんぐりえほんシリーズ

中村 文人 / 文 佼成出版社 2009.4 Z 913.8/カ/

2匹のキンセンイシモチが、海のあばれんぼう、ウツボの口に卵を産んでいった。卵からかえった子どもを食べようとするウツボだったが、あらわれた1000びきのこどもたちの「おとう」になってしまっ...

キッズエクスプレス21「創作童話・絵本コンテスト」厚生労働大臣奨励賞(2005年度)
幼児(3~5歳) おとうさん うつぼ 海

おとうさんがおとうさんになった日 絵本・こどものひろば

長野 ヒデ子 / 作 童心社 2002.5 Z 913.8/カ/

3人目の子供を自宅出産で迎える家族。誕生を待つ間に「おとうさんはいつおとうさんになったの?」と子供たちに聞かれて、あれこれ考えるお父さん。さて、いつなのかな?

幼児(0~5歳), 小初 おとうさん 赤ちゃん 誕生 家族

おとうさんびっくり

広瀬 克也 / 作 絵本館 1992.2 Z 913.8/ヒ/

幼児(0~5歳) おとうさん 夜

おとん

平田 昌広 / ぶん 大日本図書 2008.6 Z 913.8/ヒ/

うちのおとんは、なんでこうだからだとるんやるか。ちがう呼び方をしたら、少しはかっこつけるんちゃうか? そう考えた「ぼく」は、いろいろな呼び方で「おとん」を呼んでみますが...。父と息子のほんわかストーリー。

幼児(3~5歳) おとうさん 父と子

きょうはみんなでクマがりだ 児童図書館・絵本の部屋

マイケル・ローゼン / 再話 評論社 1991.1 Z 933/クマ/

今日はみんなでクマ狩りだ。つかまえるのはでかいやつ。空はすっかり晴れてるし、こわくなんかあるもんか! おや、川だ。困ったぞ、通り抜けるしかないようだ...。子供たちが進んでいくさまを楽しいしかけて描く絵本。スマーティーズ賞(1989年度)

幼児(0~5歳) おとうさん 家族 くま

きんようびはいつも

ダン・ヤッカリーノ / 作 ほるぷ出版 2007.12 Z 933.7/ヤ/

金曜日はぼくとパパにとって特別な日。朝、2人でゆっくりと散歩をして、時間をかけて朝ごはんを食べながら、いろんなことをお喋りする...。忙しい日常生活の中で、ゆったりと同じ時間を楽しむための親子の小さな行事を描く。

小初 パパ 父と子

ずーっといっしょ 世界の絵本

市川 里美 / 絵 講談社 2002.6 Z933.7/ツ/

「あのねあのね」坊やが言います。「よしよし、いい子だ」お父さんが答えます…。大きなくまの大きな愛情に包まれて、のびのびと遊ぶ小さなくま。ふたりの微笑ましい1日を描いた絵本。

幼児(0～5歳) おとうさん くま おやすみ

すえっこおおかみ

ラリー・デーン・ブリマー / ぶん あすなる書房 2003.5 Z933.7/ブリ/

末っ子おおかみは、フランキーにいさんや、アナねえさんのように速く走れないし、まっすぐに転がることもできず悩んでいます。そんな末っ子おおかみにお父さんは…。ゆっくり成長していく子を励ます楽しい絵本。

幼児(0～5歳) おおかみ おとうさん

つりはもういいんだけどな、パパ!

クロード・K・デュボワ / 作 平凡社 2006.8 Z953.7/デュ/

釣りが大好きなカエルの父子がいました。子ガエルのモモは、パパガエルといっしょに、毎日、並んで、釣り糸を垂らします。でも最近、モモはどこか変で…。カエルの父子の、とびきりハートウォーミングなお話!

幼児(0～5歳) パパ かえる 友達

とうちゃんなんかベーだ! おとうさんだいすき1

伊藤 秀男 / 作 ポプラ社 2008.10 Z913.8/伊/

サイクリングもしたし、魚釣りもしたし、虫の標本も作ったし…。でも、うしおくんはまだまだ遊び足りない。「とうちゃんなんか、ベーだ!」と言い続けている。おとうさん、どうする? 日本中のおとうさんを応援する絵本。

幼児(0～5歳) おとうさん

とうちゃんはかんばんや

平田 昌広 / 作 教育画劇 2005.5 Z913.8/ヒラ/

ぼくの父ちゃんは看板屋。いろんな店の看板をかくのが仕事なんだ。父ちゃんはいつもペンキでよごれているけど、父ちゃんのかく看板は、どれもみんなかっこいい。ぼくは父ちゃんが大好きで、父ちゃんがかく看板が大好きだ!

幼児(0～5歳) おとうさん 仕事

ねえとうさん

佐野 洋子 / 作 小学館 2001.11 Z913.8/サ/

元氣なくまの子がいます。久しぶりに帰ってきたお父さんと外に出かけ、お父さんのすごさに目をみはります。「ぼく、とうさんの子でうれしいよ」くまの家庭の心地よさに心があたたまる絵本。 日本絵本賞(第7回)、小学館児童出版文化賞(第51回)

幼児(0～5歳)、小初 おとうさん くま

パパいっばいだっこして! わたしのえほん

長谷川 知子 / 作・絵 PHP研究所 2001.1 Z913.8/長/

わたしときどき、パパなんていないほうがいいなんておもっちゃう。だってね…。パパったらおならはくさいし、トイレはながーい。お休みの日なんか「テレビばかり見てるんじゃない」とかうるさいんだ。

幼児(0～5歳) パパ だっこ

パパ、かばになる

安江 リエ/作 偕成社 2009.9 Z913.8/ヤ/

ママがお出かけの夜、パパと一緒に風呂に入ったゆうとかな。パパは大きくて、まるでかばみたい。「パパがかばになったら、背中に乗って川へ行きたい」と2人がいうと、パパの背中が茶色くなり、ぐんぐん大きくなって...

幼児(3~5歳) パパ かば おふる おやすみ

パパと10にんのこども

ベネディクト・ゲッティエール/作 ひくまの出版 2001.4 Z953.7/ゲツ/

パパには、10にんの子どもがいました。まいにち、10人の子どものせいで目がまわりそう。ある日、ひとり船にのって旅にでることにしました。でも、パパは楽しくありません。どうしてでしょう...?

幼児(0~5歳) パパ 乗り物(船) 旅

パパにあいたい

ビーゲン セン/作 アリス館 2008.7 Z913.8/ビゲ/

お父さんが大好きなターくん。お友だちに「高いところにのぼれば、遠くにいるパパにあえる」と聞いて、高い塔を作ることにしました。いす、フライパン、はしご、バス、パトカー...。街中のものをどんどん積み上げていくと...

幼児(0~5歳) パパ 乗り物(船)

ピッツアぼうや

ウィリアム・スタイグ/作 セーラー出版 2000.3 Z933.7/スタ/

「ピートでピッツアを作ったら楽しくなるかもしれないぞ」お父さんはピートをキッチンテーブルに乗せてさっそく生地をこねはじめました。どんなピッツアが出来上がるのでしょうか。

幼児(0~5歳), 小初 おとうさん 雨の日

ブンブンガタガタドンドン

かんざわ としこ/さく のら書店 2009.6 Z913.8/か/

夕ごはんを食べて、お風呂にも入って、絵本も読んでもらったカナちゃん。もう寝る時間です。でも、まだまだ眠たくありません...。おやすみ前の幼い子の心の世界を、愛情あふれる文と絵で描いた、あたたかな絵本。

幼児(0~5歳) おとうさん プレゼント くま おやすみ

ぼくのパパはおおとこ せかいいちのパパがいるひとみんなに

カール・ノラック/文 セーラー出版 2006.11 Z953.7/ノ/

ぼくには大好きな大男のパパがいる。パパのくしゃみは台風みたい。サッカーのキックはお月さまに届くほど。ぼくがこわいときはいつだって大きな腕でぎゅうっと抱きしめてくれるんだ。きみのパパも大男かな?

幼児(0~5歳) パパ

4こうねんのぼく そうえんしゃ・日本のえほん 3

ひぐち とまこ/さく・え 草炎社 2005.12 Z913.8/ヒグ/

あのな、父ちゃん。1光年って知ってるか。今日、先生に教えてもらてん。1光年離れた星から地球を見ると、1年前の地球が見えるんやて。すごいやろ...。父子家庭の子どもが母への想いをつづる、愛の絵本。

幼児(0~5歳) おとうさん 星 地球 ロケット 父子家庭



小学生から

おとうさんのちず

ユリ・シュルヴィッツ / 作 あすなる書房 2009.5 Z933.7/91/

戦争で故郷を追われたぼくたちが命からがらたどりついたのは、夏は暑く、冬は寒い東の国。食料はとぼしく、土をかためた床の上で眠る毎日に、あるとき、おとうさんは…。絵本作家が子ども時代を語る感動の自伝絵本。 コルデコット賞銀賞（2009年）、日本絵本賞翻訳絵本賞（第15回）

幼児(0～5歳)、小初 おとうさん 地図 戦争

とうちゃんのトンネル

原田 泰治 / 作・絵 ポプラ社 1980 Z913.8/17/

小初 おとうさん 家族 戦争

はるかな湖

アレン・セイ / 作・絵 徳間書店 1999.2 Z933.7/71/

夏休みだというのに、とうさんは朝から晩まで仕事ばかり。ぼくの相手もしてくれない。でも、ある土曜の朝…。無口な父と内気な息子。二人の間に通い合う愛情を静かに綴った、心にしみる絵本。

幼児(0～5歳)、小初 おとうさん 夏休み 父と子

ぼくとおとうさんのテッド

トニー・ディテルリッジ / 作 文溪堂 2008.6 Z933.7/71/

ラズベリー色の大きな体をしていて、ゆかいなことが大好きなテッドがぼくの家に来てきた。ぼくはテッドと仲良くなったけど、お父さんにはテッドが見えなくて…。大人になると忘れてしまう「遊びごころ」を思い出せる絵本。 ジーナ・サザーランド賞

幼児(0～5歳)、小初 おとうさん 友達

ぼくのチョパンドス

小林 豊 / 絵と文 光村教育図書 1999.4 Z913.8/31/

中央アジアの広大なトルキスタン平原で、秋の終わりから春にかけて行われる、馬を使った伝統的な競技「ブズカシ」。ブズカシの勇ましい様子や、人々の生活ぶりを、少年コアの目を通じて描く。

幼児(0～5歳) おとうさん 馬 戦争

山形県立図書館 経営課調査相談担当
〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (023) 631-2523 (代)
URL <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>